

外来より



風しんが流行中です!



風しん患者はここ数年は少なかったのですが、平成24年は患者数が増加し、前年の6倍以上になりました。さらに今年になっても依然として流行が続いております。風しんの抗体を持たない妊娠中の女性が風しんにかかると、赤ちゃんに生まれつき難聴や心疾患などの障害が起こることがあります。これを「先天性風しん症候群」といい、感染が妊娠の初期だと高い確率で障害が起こります。これは妊娠初期が胎児の臓器が形成される時期で、風しんウィルスの影響を受けやすいためと考えられています

※ 麻しん風しんの予防接種を早めに済ませましょう

風しんの予防接種は、麻しん風しん混合(MR)ワクチンを定期接種として受けることができます。2回接種が基本で、1回目(1期)は生後1歳以上2歳未満、2回目(2期)は小学校就学前の1年間に接種を受けます。ただし、それ以外の年齢で接種を受ける場合は、特別な事情が無い限り任意接種の扱いとなります。**成人の場合は、任意接種(費用は自己負担)となります。**風しんにかかったかどうか分からない人、特に子どもを希望しているご夫婦で、風しんにかかっていない人やかかったかどうか分からない人、抗体陰性又は抗体値が低いと確認できた人は、予防接種を受けることをお勧めします。

**風しんは特異的な治療法がありません。
風しんの流行を防ぎ、先天性風しん症候群を防ぐためにも
予防接種を受けることが大切です。**



院長より

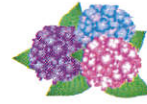
～資格サポートシステムの始動～

この度、あんのうらクリニックで上記の職員教育プログラムを実施することになりました。職員のキャリアアップと仕事に対する意識向上を目的としております。すでに今月から介護福祉士の講座が開講しており、来月からは介護支援専門員(ケアマネジャー)の講座を開講します。講師は当院所属の医師・看護師・介護福祉士・理学療法士・介護支援専門員がそれぞれ分担し、週一回講義を実施します。当院職員である程度の実績が上がれば、一般の方で資格試験を考えている方にも門戸を広げる予定にしております。当院職員の場合にはテキスト代・講師への報酬・その他事務諸経費は全額クリニック負担で行います。また講義の後、不定期で講師との食事会も行っております。先日は介護福祉士コースの私の講義でしたが、講義後二人の受講生と彼らの家族と一緒に居酒屋で食事会をしてカラオケに行ってきました。

「楽しく学んでキャリアアップを」を合言葉にがんばっていきます。

粟浦 康高

デイケアより



皆様の日常の様子をご紹介します

お誕生日おめでと
うございます!!



軍配はどちらに?



素晴らしい歌声です~♪



坂本可奈絵先生の栄養豆知識

6月号のテーマは「高齢者の脱水症予防」についてです。



<高齢者が脱水症になりやすい理由>

■身体の水分量が減る

水分は筋肉に蓄えられています。筋肉量が減る事で体内の水分量も失われます。

■腎臓の機能が低下する

老廃物を排出するために、多くの尿量が必要になるため、身体的水分も失われやすくなります。

■喉の渇きを感じにくくなる

加齢とともに感覚機能が低下するため、身体的水分は不足していても喉の渇きを感じにくくなる。

■利尿剤の影響

代謝機能が低下しているため、薬の影響が出やすくなります。

脱水症状を防ぐには、食事時、間食時など日常的に水分を摂る事が大切です。
食事以外で1日1,500ml以上水分を摂るように心がけましょう。
小児の場合も水分の出入りの比率が大きいのでこまめに水分摂取を行いましょう。



職員紹介



管理栄養士 坂本 可奈絵

趣味

アウトドア

好きな言葉

医食同源、真摯

皆様へ一言

皆様、初めまして。管理栄養士の坂本可奈絵です。

毎週金曜日に外来の栄養指導、通院が困難な患者様のもとへお伺いして栄養相談や調理指導を行うといった訪問栄養指導をしています。
食事や栄養に関してお困りのことはお気軽にご相談下さい。

